



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日  
東

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所  
 コード番号 3747 URL <http://www.itrade.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 丸山 與一 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( — )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	1,700	△7.1	△47	—	△44	—	△48	—
27年9月期第3四半期	1,830	△0.3	△142	—	△140	—	△304	—

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 △59百万円( —%) 27年9月期第3四半期 △291百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	△6.80	—
27年9月期第3四半期	△42.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	2,166	1,697	78.3
27年9月期	2,327	1,756	75.5

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 1,697百万円 27年9月期 1,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,340	△4.9	10	—	13	—	8	—	1.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	7,444,800株	27年9月期	7,444,800株
28年9月期3Q	259,200株	27年9月期	259,200株
28年9月期3Q	7,185,600株	27年9月期3Q	7,185,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」(平成27年10月1日付でITソリューション事業から名称変更)、健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」及び自己資金を運用する「自己資金運用事業」の4つです。

ヘルスケア事業において、販売子会社であった株式会社健康プラザパルと株式会社ビューティーグルカンは、平成27年11月1日付で株式会社健康プラザパルを存続会社として合併しました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純損失」を「親会社株主に帰属する四半期純損失」としております。

当第3四半期連結累計期間(以下、当第3四半期)の当社グループの連結経営成績は以下の表のとおりです。

	平成27年9月期 (前第3四半期)		平成28年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,830	100.0	1,700	100.0	92.9
金融ソリューション事業	1,456	79.5	1,415	83.3	97.2
ビジネスソリューション事業	233	12.8	123	7.3	53.1
ヘルスケア事業	140	7.7	160	9.4	114.3
自己資金運用事業	0	0.0	0	0.0	114.6
営業損失(△)	△142	—	△47	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△304	—	△48	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでおりません。

当社グループの連結売上高の8割以上は金融ソリューション事業の売上高であり、その中でも証券会社等のディーリング(自己資金運用)業務を行う法人への売上高は、連結売上高の約3分の2を占めます。

当第3四半期においては、英国のEU離脱問題の影響で一昨日経平均株価が急落するなど、海外経済への不確実性から日本経済の先行きが不透明な状況となり、当社グループの事業環境に好影響を及ぼすような変化はありませんでした。

当第3四半期の業績は、前年同期に比べ金融ソリューション事業が若干の減収、ビジネスソリューション事業は減収、ヘルスケア事業においては増収となりました。その結果、当第3四半期の当社グループの連結売上高は減収となったものの、金融ソリューション事業で当期から推進しているシステム開発の内製化や業務効率化による外注費の削減、ヘルスケア事業において前年同期に棚卸資産の評価減等を計上した影響もあり営業損失は大幅に縮小しました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでおりません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第3四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高 1,415百万円(前年同期比 97.2%)

セグメント利益 397百万円(前年同期比 116.0%)

なお、金融ソリューション事業の売上内訳は、以下の表のとおりです。

## &lt;製品区分別&gt;

	平成27年9月期 (前第3四半期)		平成28年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	963	66.1	957	67.6	99.4
取引所端末	193	13.3	191	13.5	98.8
外国為替証拠金システム	132	9.1	108	7.6	81.9
取引所関連システム	137	9.4	129	9.2	94.4
その他	30	2.1	29	2.1	96.6
合 計	1,456	100.0	1,415	100.0	97.2

## &lt;売上区分別&gt;

	平成27年9月期 (前第3四半期)		平成28年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	89	6.2	53	3.8	60.0
システムインテグレーション売上	98	6.7	60	4.3	61.4
ライセンスビジネス売上	820	56.3	881	62.3	107.5
カスタマーサポート売上	448	30.8	419	29.6	93.6
合 計	1,456	100.0	1,415	100.0	97.2

## &lt;売上面&gt;

当第3四半期においては、前年同期比で2.8%の減収となりました。

- ・主力の証券ディーリングシステムは、顧客証券会社の海外取引強化に基づく案件や執行コスト削減に関するサービスの売上があったものの、前年同期から若干の減収となりました。また、外国為替証拠金取引システムも前年同期から減収となりましたが、これは利用社数の減少によるものです。
- ・売上区分別では、ライセンスビジネス売上が前年同期を7.5%上回ったものの、新規導入案件であるパッケージ売上、システムインテグレーション売上の減少を補うことはできませんでした。

## &lt;費用面&gt;

- ・売上高が減収となった中でも継続して実施しているシステム開発の内製化及び業務効率化による外注費の削減により増益を確保しました。
- ・大手証券会社及び外資系証券会社のニーズに応えるため、「先進的機能」「導入の柔軟性」を両立するコンポーネント販売に向けた研究開発を進めています。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業の業績は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第3四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	123百万円 (前年同期比 53.1%)
セグメント損失	59百万円 (前年同期は31百万円のセグメント利益)

前年同期はサポートセンター業務の新規スポット案件を主因に233百万円の売上高を計上したものの、当第3四半期においては同等規模の案件が無く大幅な減収となりました。利益面についても、売上高の減少の影響が大きく、セグメント損失59百万円となりました。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社、株式会社らぼおぐ及び株式会社健康プラザパルの事業です。

当第3四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	160百万円 (前年同期比 114.3%)
セグメント損失	147百万円 (前年同期は265百万円のセグメント損失)

引き続き販売経路の開拓を行い、当第3四半期においては、外国人向けの販売会社数社との取引を拡張するなどの成果がありました。結果として、前年同期を14.3%上回る売上高を計上し業績の改善に寄与しました。

費用面においては、効果的な広告宣伝への絞り込みを行い、コストを削減しました。学校法人東京女子医科大学及び国立研究開発法人産業技術総合研究所との産学官共同研究に伴う研究開発費が、当初の計画通りではあるものの前年同期より減少、また、前年同期には棚卸資産の評価減を計上した影響もありセグメント損失が大きく縮小しました。

## (自己資金運用事業)

自己資金運用事業は、株式会社トレーデックスの事業です。

当第3四半期の経営成績は以下のとおりです。

売上高	0百万円 (前年同期は0百万円の売上高)
セグメント損失	2百万円 (前年同期は0百万円のセグメント損失)

金融ソリューション事業の主力である証券ディーリングシステムに関連する研究等を行っています。当第3四半期は、若干のセグメント損失となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は、前連結会計年度末に比べ160百万円減少し、2,166百万円となりました。自己資本比率は78.3%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は411.2%であり、安定性の高い財務体質となっています。

## (資産)

総資産合計2,166百万円のうち、現金及び預金と有価証券(MMF)が1,365百万円(構成比63.0%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金196百万円(構成比9.1%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)164百万円(構成比7.6%)、投資有価証券158百万円(構成比7.3%)となっています。

## (負債)

負債合計468百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が274百万円(負債及び純資産に対する構成比12.7%)を占めています。

## (純資産)

純資産合計1,697百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△498百万円、自己株式△95百万円等となっています。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成27年11月13日に公表いたしました平成28年9月期(平成27年10月1日～平成28年9月30日)の通期業績予想を修正いたしました。詳細は、同日に発表いたしました「平成28年9月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	974,375	1,264,994
受取手形及び売掛金	250,259	196,408
有価証券	462,309	100,783
商品及び製品	76,268	73,347
仕掛品	63,992	77,089
原材料及び貯蔵品	15,875	14,197
繰延税金資産	6,800	6,800
その他	88,464	87,296
貸倒引当金	△12,149	△11,907
流動資産合計	1,926,195	1,809,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,813	17,955
工具、器具及び備品(純額)	44,430	34,844
有形固定資産合計	65,243	52,800
無形固定資産		
のれん	9,183	5,739
ソフトウェア	19,632	15,055
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	30,063	22,042
投資その他の資産		
投資有価証券	174,512	158,895
その他	147,164	139,951
貸倒引当金	△15,928	△15,928
投資その他の資産合計	305,748	282,917
固定資産合計	401,056	357,760
資産合計	2,327,251	2,166,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,846	70,739
短期借入金	109,000	103,000
1年内返済予定の長期借入金	86,976	85,776
リース債務	1,883	1,953
未払法人税等	8,049	4,057
受注損失引当金	1,000	5,500
その他	116,388	108,927
流動負債合計	411,144	379,952
固定負債		
長期借入金	145,229	85,397
リース債務	2,910	1,436
退職給付に係る負債	2,155	2,053
長期割賦未払金	8,898	—
固定負債合計	159,193	88,887
負債合計	570,337	468,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△449,402	△498,274
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,728,264	1,679,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,650	18,250
その他の包括利益累計額合計	28,650	18,250
新株予約権	—	287
純資産合計	1,756,914	1,697,930
負債純資産合計	2,327,251	2,166,770

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,830,975	1,700,756
売上原価	1,167,559	1,077,476
売上総利益	663,416	623,280
販売費及び一般管理費合計	806,001	670,465
営業損失(△)	△142,585	△47,185
営業外収益		
受取利息	353	376
受取配当金	7,114	5,765
受取手数料	169	—
その他	605	397
営業外収益合計	8,242	6,539
営業外費用		
支払利息	5,793	3,799
その他	47	54
営業外費用合計	5,840	3,854
経常損失(△)	△140,183	△44,500
特別利益		
固定資産売却益	46	—
投資有価証券売却益	—	82
違約金収入	—	1,500
特別利益合計	46	1,582
特別損失		
固定資産除売却損	—	16
投資有価証券評価損	24,782	—
事務所移転費用	688	—
減損損失	126,639	—
特別損失合計	152,110	16
税金等調整前四半期純損失(△)	△292,247	△42,935
法人税、住民税及び事業税	3,404	5,936
法人税等調整額	9,000	—
法人税等合計	12,404	5,936
四半期純損失(△)	△304,651	△48,871
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△304,651	△48,871

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△304,651	△48,871
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	13,650	△10,400
その他の包括利益合計	13,650	△10,400
四半期包括利益	△291,001	△59,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△291,001	△59,271
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ITソリューション事業	ヘルスケア事業	自己資金運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,456,339	233,682	140,482	470	1,830,975	—	1,830,975
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,250	2,611	—	4,861	△4,861	—
計	1,456,339	235,932	143,094	470	1,835,837	△4,861	1,830,975
セグメント利益又は損失 (△)	342,436	31,100	△265,177	△909	107,449	△250,034	△142,585

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△250,034千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、当初予定していた収益が見込めなくなったため、当該資産の帳簿価額を回収可能額まで減額いたしました。当該減少額は、減損損失として特別損失に126,639千円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業 (注)1	ヘルスケア事業	自己資金運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,415,686	123,970	160,560	539	1,700,756	—	1,700,756
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,250	39	—	2,289	△2,289	—
計	1,415,686	126,220	160,599	539	1,703,045	△2,289	1,700,756
セグメント利益又は損失 (△)	397,386	△59,294	△147,109	△2,485	188,496	△235,681	△47,185

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より、従来「ITソリューション事業」としていた報告セグメントから、「ビジネスソリューション事業」に名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△235,681千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。